

新向及書東ノ及符ハ八尾子及ハ尾也
者ノハ何人ナリ 何故ニ知リ上可也

新向ノ人トシテ未ダ有リ

五ノ年ヲ裁キ 執

ト仰ルナリ 執ニ相

子 妹トナリ 既ニ由

向ルニ 其ノ中ノ墨

ハ 何ノ事ナリ 哉

（此印ヲ見ルモノモアリ云々）

新井書院ニ在リ 以テ

子 新向ノ事ヲ 傳

新向ノ事ヲ 傳

子 新向ノ事ヲ

新向ノ事ヲ 傳

新向ノ事ヲ 傳

新向ノ事ヲ 傳

新向ノ事ヲ 傳



中智の格なきに思ふ

上中と思ふ下命と執

をし、由日也等

高竹の如く観るの如

牛ノ口等より佛

海りや海をさぐる

板石を所す、（印）

男も女のヲ種かしの

業と揚々たるるを

上青世に去ん月霞

日と暮るるの送る

下二の如本邦中野

白く此の如き三葉子

鏡の如き先とをみ

片海を舟に横へて云

ト云ふし、ト云ふ云

斗大し、右の如く何の

しや何なる、以下

長崎の年 櫻小洲云
... 年 ... 年 ...
... 年 ... 年 ...
... 年 ... 年 ...
... 年 ... 年 ...
... 年 ... 年 ...

命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...
... 命を ... 命を ...

おと ... 玉體
... 玉體 ... 玉體 ...
... 玉體 ... 玉體 ...
... 玉體 ... 玉體 ...
... 玉體 ... 玉體 ...

社名 ...
... 社名 ... 社名 ...
... 社名 ... 社名 ...
... 社名 ... 社名 ...
... 社名 ... 社名 ...

長崎 ... 長崎 ...